



田中 唯登志 議員

## 2040年一万人構想の達成度は

坪根町長

### 自信を持って着実に進めている

**図 今後の予測は。**  
堀課長 ここ数年、転入者が転出者を上回っているが出生者は減少している。コモンパーク彩葉では約200人が定住されたが今後の予測は厳しい状況である。

**図 日本全体の人口が減少する中で、上毛町の人口対策は。**  
堀課長 子どもが輝くまち、たくさんの人で輝くまち、心から笑顔で輝くまちなど、輝くまちの基盤づくりを実現し、まず住民の方々の生活が豊かであればならないと考える。

**図 生活が豊かになると出生率が低下するジレンマへの対応は。**  
堀課長 ライフステージに応じた子育て支援策を複数の課で連携・検討し、今年度新たな制度を実施の上、人口減少を食い止める。

**図 出生率の増加ではなく、人口減少を食い止める政策か。**  
堀課長 目標は現状維持ではない。子育てのしやすい環境を作る制度の創出を考える。

**図 人口対策で最も重要なものは。**  
堀課長 教育の充実、子育て支援、

**図 図若者が定住していく為の支援策は。**  
堀企画情報課長 コモンパーク上毛彩葉の分譲整備、インフルエンザなどの予防接種の助成、保育料の減額などの支援策を講じている。今年度からライフスタイルに応じた支援策として、結婚祝い金・赤ちゃん祝い金・民間アパート家賃補助・住宅新築助成を創設している。

**図 宅地造成の計画及び構想は。**  
堀課長 子育て世代を中心に宅地分譲地の計画をしている。親子4人家族で750世帯、年間37、38世帯の増加で20年間で3000人増を試算している。宅地分譲候補地、15地区を福祉居住ゾーンと位置付け、人口が減少している小学校区などを視野に検討している。

**図 町営住宅建替の進捗状況は。**  
垂水(勇)住民課長 平成25年の長寿命化計画では、今年度は上野地団地、令和3年は垂水団地、令和4年から5年にかけて安雲の照日台団地の建て替えを計画しているが未着手である。今年度県及び関係課と協議を行い、どの団地から建て替えるか、住宅地として分譲するか、その他民間を活用した住宅を建設する手法などについて、長寿命化計画の見直しを行っている。

**図 企業誘致の進捗状況は。**



高西 正人 議員

## 人口対策で最も重要なものは

堀企画情報課長

### 住み良い町として選んでもらう事

**図 平成17年合併後の人口の動向は。**  
堀企画情報課長 合併当時は8499人。その後減少し、平成31年3月末は7615人。

**図 全国で発生している人口競争戦での上毛町の戦略は。**  
坪根町長 将来に継続する循環型社会のため、どの世代をどの地域にどれだけ増やしていくかという事を練り政策を実施。PDCA※を回すだけでなく、ピンポイントで明確化し、職員一丸となって人口増を目指していく。

※PDCAとはPlan(計画)、Do(実行)、Check(評価)、Action(改善)の頭文字を取ったもので、効率的な業務を行うための手法のひとつ。

**図 PDCAより発展したSWOT分析を活用しているか。**  
堀課長 強み(S)、弱み(W)、機会(O)、脅威(T)の要因を分析するSWOT分析は特に意識はしていないが、プラス要因、マイナス要因を分析し、メリット、デメリットを理解し、戦略策定業務を行っている。

**図 2040年、人口1万人のために戦略策定業務でのSWOT分析の検討は。**  
坪根町長 夢や理想をしっかりと持

住みよい街の実現を図り、上毛町を選んでもらう事。そのため、ライフステージに応じた様々な施策、結婚祝い金、赤ちゃん祝い金、民間アパート家賃補助、住宅新築助成などを創設している。

ち、事業をみんなですべてつらくなり進めて行く。我々の世代がしっかりと目標を持ってやれば、人口は必ず増えてくる。

## 町の情報発信は

**図 手段及びその頻度は。**  
堀課長 広報、ホームページ、フェイスブックなどで行っている。ネットでの更新頻度は適宜必要に応じて行っている。今年度はインパクトのあるホームページへの更新やスマートフォンアプリの運用、PR動画制作を行う予定である。

**図 ネットでの情報発信は定時が効果的なので変更を考えないか。**  
堀課長 今後検討する。

**図 PR動画の内容と活用は。**  
堀課長 町をPRする内容を2分間程度で収める。まずは上毛町を「こうげ」と読んでもらえるよう認知度を高めるものとする。活用についてはネットはもちろんの事、イベント参加の機会が多いのでそこでも放映するような形を考えている。

**図 ユーチューブに上毛町のチャンネルを設け動画の活用を。**  
堀課長 今後、PR動画を無駄にしない活用方法を検討する。

**図 SNSを活用しての情報発信**

**図 補助金はどれくらいか。**  
坪入課長 わなについては、講習会費用3500円、免許申請手数料5200円のうち8千円補助。銃器は、講習会費用6800円、申請手数料5200円、合計12000円全額補助している。

**図 猟友会で行っている駆除の成果は。**  
坪入課長 平成30年度は、イノシシの成獣が83頭、鹿の成獣が238頭、イノシシの幼獣が19頭、鹿はゼロで合計340頭。その他としてカラス40羽、ハト1羽の駆除を行っている。

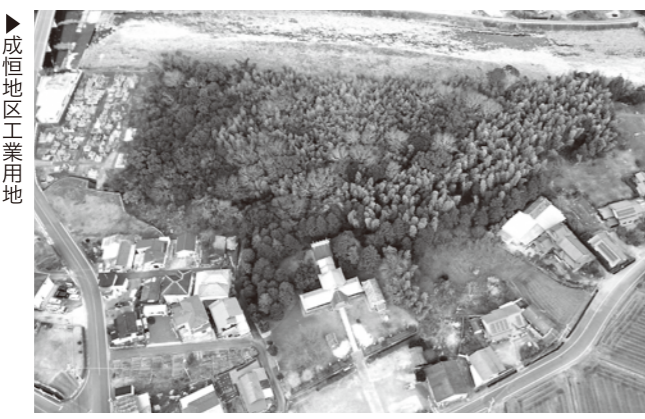
**図 猟友会の人員数は。**  
坪入課長 捕獲員として銃器の方が11名、わなの方が24名である。銃器での駆除は、ほぼ全員参加で行われている。

**図 記事を投稿する場合に要する日数、時間は。**  
堀課長 早ければ1日ないし2日で投稿している。できるだけ早く投稿するために、各課に担当者をつけているところでもある。

**図 記事を投稿する場合に要する日数、時間は。**  
堀課長 早ければ1日ないし2日で投稿している。できるだけ早く投稿するために、各課に担当者をつけているところでもある。



▲現在のの上毛町ホームページ



▶成恒地区工業用地

## 有害鳥獣駆除は

図 対策支援は。

**坪入産業振興課長** 資格取得の補助として、わなと銃器の免許取得には、ほぼ100%の補助を出している。



## PCB(ポリ塩化ビフェニル)の対応は

図 本町施設の管理状況は。

**岡崎総務課長** 自家用電気工作物などを設置している公共施設については、法令に基づき保安管理を行っている。PCBに対する対応が必要か否かは委託業者からの調査結果により報告を受けることになっている。現時点で対応が必要と報告を受けているのは、大平支所、南吉富小学校の変圧器、それから高圧コンデンサーである。分析調査を行い、低濃度PCB使用機器と確認されると、国が定める方法により届け出、保管、廃棄を行う流れになっている。なお、処分期間が平成30年3月31日までの高濃度PCB使用機器は、ないことを確認済である。

**図 町内企業への周知活動は。**  
岡崎課長 福岡県ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理計画に基づき、町の役目として平成25年から町広報を通じて、6回程度記事を掲載し、周知を図っている。